

| | | | | | | | |
|--|---|-----|------|---------|------------------|-------|-------------------------|
| 授業科目(ナンバリング) | スポーツ原理 (CC101) | | | 担当教員 | 神野 周太郎 | | |
| 展開方法 | 講義 | 単位数 | 2 単位 | 開講年次・時期 | 1 年・前期 | 必修・選択 | 選択 (コース必修) |
| 授業のねらい | | | | | | | アクティブ ラーニング の 類 型 |
| 本授業では、身体、体育、スポーツに関する哲学的アプローチについて理解することを目的とする。これまでの研究成果の一覧を理解することに留まらず、身体、体育、スポーツについての歴史的理解を踏まえて現代的問題（これからの体育における学び、部活動問題、スポーツ指導者のあり方、スポーツにおける倫理）について意見を持つことを目的とする。 | | | | | | | ② |
| ホスピタリティを構成する能力 | 学生の授業における到達目標 | | | | 評価手段・方法 | | 評価比率 |
| 専門力 | <ul style="list-style-type: none"> 身体、体育、スポーツの諸問題について歴史的、哲学的観点から討議できる。 体育、スポーツの概念について説明できる。 | | | | 授業内小レポート 定期試験 | | 30% 60% |
| 情報収集、分析力 | 身体、体育、スポーツの現代的問題について様々な意見を整理することができる。 | | | | 授業内小レポート | | 10% |
| コミュニケーション力 | | | | | | | |
| 協働・課題解決力 | | | | | | | |
| 多様性理解力 | | | | | | | |
| 出 席 | | | | | 受験要件 | | |
| 合 計 | | | | | 100% | | |
| 評価基準及び評価手段・方法の補足説明 | | | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> 授業内小レポート：授業毎に小レポートを課し、授業内容の理解及び授業内容に対する思考、発想について評価する（評価基準 40%） テスト：期末に行うテストまたはそれに類する最終レポートでは授業内容についての基礎的な知識の理解及び自身の思考、発想について評価する（評価基準 60%） また、レポート、小テストなどのフィードバックを授業で行う。 | | | | | | | |
| 授 業 の 概 要 | | | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> 講義中心であるが、「覚える」よりも「考える」ことが重要であるため、講義中に決められた時間で自分の考えをまとめる課題を行う。また、講義中の質問に対して学生個人の意見を求める場合もある。 主なトピックスは以下の通り。 <ul style="list-style-type: none"> ● 「体育」、「スポーツ」に関する研究分野について ● 「体育」、「スポーツ」の現状について ● 体育について ex) 体育とは何か、体育の目標、私の行ってきた体育 ● スポーツについて ex) スポーツとは何か、スポーツの価値・目標、部活と勝利 ● スポーツ倫理（時事的話題を含む） この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。 | | | | | | | |
| 教 科 書 ・ 参 考 書 | | | | | | | |
| 教科書：特に使用しない 参考書：『体育哲学』阿部 悟郎 著、不昧堂、2018 『身体教育の思想』樋口 聡 著、勁草書房、2005 『体育・スポーツの哲学的見方』久保 正秋 著、2010 指定図書：『身体教育を哲学する』佐藤 臣彦 著、北樹出版、1993 | | | | | | | |
| 授業外における学修及び学生に期待すること | | | | | | | |
| 中学校・高等学校教諭一種免許（保健体育）取得希望者は必修となる。 ・メモをとる。メモには「テクニカルターム（術語）」「重要事項」「関連事項」「ひらめいたこと」である。 ・講義の内容については資料で確認する。どこで何を調べることができるかをしる、ことが重要である。 ・考える。自分なりの思考で構わない。大切なのはいつも自分が問いを発し、回答を用意することである。 | | | | | | | |

| 回 | テ ー マ | 授 業 の 内 容 | 予 習 ・ 復 習 |
|----|----------------------|--|---------------------------------------|
| 1 | オリエンテーション | 本講義の目的、内容等の説明、「体育、スポーツ」に関する調査 | 予) シラバスを読む |
| 2 | 体育の科学 | 体育学とスポーツ科学 | 復) 体育原理の位置づけについて小レポートを作成する |
| 3 | スポーツの原理とは | 体育・スポーツの哲学研究法 | 復) 体育原理の研究方法について小レポートを作成する |
| 4 | 体育の現在 | 体育の現状分析 | 復) 体育の現状批判について小レポートを作成する |
| 5 | これまでの体育 | 身体教育の歴史 | 復) 日本を中心に身体教育の歴史的展開について小レポートを作成する |
| 6 | 「体育」の構成 | 教育概念 | 復) 体育論における教育概念について小レポートを作成する |
| 7 | 体育とは何か | 体育概念のまとめ | 復) 体育哲学者の佐藤臣彦が提唱する体育概念について小レポートを作成する |
| 8 | 現代スポーツの問題 | スポーツの現状分析 | 復) スポーツの現状批判について小レポートを作成する |
| 9 | これまでのスポーツ | スポーツの歴史、オリンピックと政治、人権 | 復) 人類におけるスポーツの歴史について小レポートを作成する |
| 10 | 文化としてのスポーツ | 文化概念 | 復) 文化概念と文化論について整理する |
| 11 | スポーツとは何か | スポーツ概念のまとめ | 復) スポーツ概念について小レポートを作成する |
| 12 | スポーツにおける勝利至上主義とドーピング | スポーツでは勝つことが全てか？どこまでがドーピングとなるか？ | 復) 勝利至上主義と諸問題について意見をのべる |
| 13 | スポーツ指導に関わる者とその責任 | コーチングとは、コーチとは、運動部活動を行う教師はコーチ？スポーツ指導者の責任とは？ | 復) コーチングについて小レポートを作成する |
| 14 | 現代スポーツの倫理的課題 | 体育、スポーツに関する倫理的問題：指導者の責任、人権、ドーピング、性別 | 復) 授業テーマについて、これまで経験した事例をもとに小レポートを作成する |
| 15 | まとめ | 講義全体のまとめ | 復) 本講義で学んだことをレポートにまとめる |
| 16 | 定期試験 | | |